

高崎高等学校アメリカ研修 報告書（7日目）

いよいよボストンを離れる朝がやってきました。集合時間の朝4時に寮のロビーに集まると、「寝坊しないために寝なかった！」という生徒も多くいました。そして、こんな時間にも関わらずロビーには留学生たちが何人か高高チームを見送りに出てきてくれていました。たくさん交流をし、真に仲間となれたからと思います。

バスに乗り空港に向かうと、オーランドに向かう飛行機は定刻で出発しました。飛行機の中には多くの生徒が「爆睡」だったかと思います。そして暑い暑いと言われるオーランドの空港に降り立つと、ターミナルはとても寒い。ボストンよりもさらにきついエアコンがかかっています。荷物を受け取り、これからお世話になる現地ガイドの皆さんに連れられて外に出た瞬間、別世界のような湿度と温度に包まれました。オーランドは日本のように湿度も高い暑さです。ボストンのカラっとした暑さに慣れた身にはいささか堪えますが、酷暑の日本に帰る前のリハビリにはなるでしょうか。

バスで移動を開始すると、これもまたボストンとは全く違う景色です。ひたすら広大な土地と、山が無いために低い雲、草原と湿地が広がり、池には多くのワニが生息して大変に危険とのことでした。また草地には日本でも昨今話題のヒアリがいるため注意が必要とのことでした。

ショッピングモールで食事を済ませると、その後いよいよホストファミリーとの待合場所へ移動しました。生徒達は口々に「緊張する」と落ち着かない様子です。とにかくファーストインプレッションは大事なので笑顔で挨拶をするように伝え、この週末はボストンでの挑戦を思い出してとにかく積極的に過ごすことを確認しました。果たして待合場所にはすでに何家庭かファミリーが来ており、やや引きつった笑顔の高高生を満面の笑みのホストファミリーがハグをして迎えてくれました。週末はホストファミリーとアメリカの生活を存分に楽しんでもらうこととなります。短い期間ですが、受身なお客様ではなく、積極的に家族の一員としてこの時間を過ごして欲しいと思います。以上、研修7日目の報告と致します。



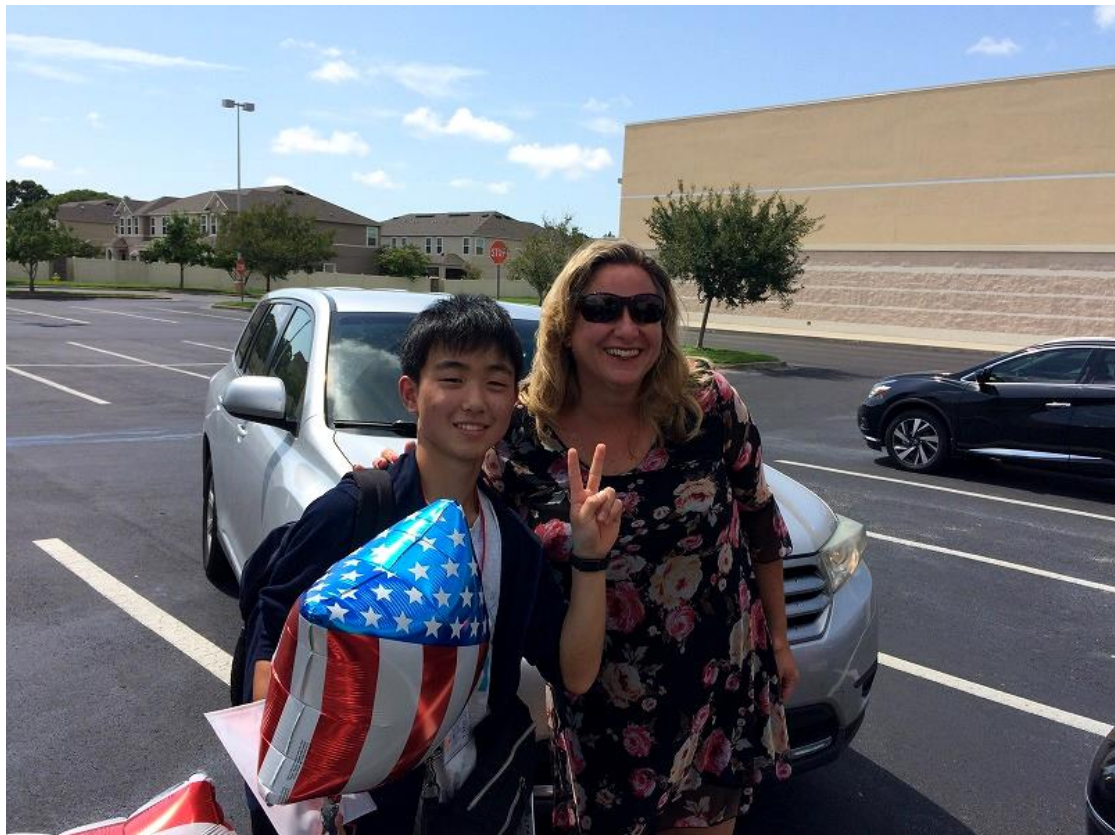
ホストファミリーとの対面①



ホストファミリーとの対面②



ホストファミリーとの対面③



ホストファミリーとの対面④